

# 中越地震

## 17年

# 感謝と備え忘れない

## 防災用品 使い方紹介 小千谷



非常食の備え方や防災用品の使い方を学ぶ家族連れが23日、小千谷市上ノ山4

家でも作ってみたい」と話した。

イベント後には、同館が入る建物前で追悼のつどいが催され、参加者が地震発生時刻の午後5時56分に黙とうをささげた。犠牲者を悼む花火「白菊」も3発打ち上げられた。

中越地震で大きな被害を受けた小千谷市のおぢや震災ミュージアム「そなえ館」(上ノ山4)では23日、開館10周年記念イベントが開かれた。防災用品の展示や非常食の試食などが行われ、家族連れらが防災への意識を高めていた。そなえ館は2011年に開館し、中越地震の経験や教訓を発信してきた。今年8月末までに累計約17万4千人が来場した。イベントでは、防災士がビニール袋を使って簡単に作ることができる非常食のケーキの作り方を紹介。ケーキを食べた長岡市今朝白3の小学3年、木村心華さん(8)は「おいしかった。